

丹波市議会だより たんばりんぐ

令和 6 年

4

No.77

TAMBA CITY

6月 9月

3月 12月

定例会は
年 4 回

あなたの声を聴かせてください /

市民のみなさんと議員の

意見交換会

5/13 月 ▶ 5/16 木

市内 7 会場で開催

参加費
無料



詳しくは
2 ページを
チェック！



たんばりんぐ

CONTENTS

P2 市民との意見交換会のお知らせ

P4 新年度予算を
ピックアップ

P11 議案の審議結果

P12 ココが聞きたい！一般質問

Open! →

議員と語ろう！

市民のみなさんとの意見交換会

* 1 班

5/13 (月) 午後 7 時～ ハートフルかすが
5/14 (火) 午後 7 時～ 青垣住民センター
5/15 (水) 午前 10時30分～ 市民プラザ
午後 7 時～ 柏原住民センター



太田 一誠 山名 隆衛 近藤 憲生 奥村 正行 垣内 廣明
西脇 秀隆 小橋 昭彦 足立 嘉正 須原 弥生 谷水 雄一

私たちがお待ちしております

※ お住まいの地域に関わらず、どの会場にもご参加いただけます。

* 2 班

5/13 (月) 午後 7 時～ ライフピアいちじま
5/14 (火) 午後 7 時～ 山南住民センター
5/16 (木) 午後 7 時～ 氷上住民センター



酒井 浩二 西本 嘉宏 藤原 悟 吉積 毅 小川 庄策
渡辺 秀幸 太田喜一郎 大西ひろ美 広田まゆみ 前川 進介

今回のテーマ

- A : 教育
- B : 地域づくり
- C : 女性活躍
- D : 防災
- E : その他 (市政全般)

※ 5つのテーマのグループに分かれて意見交換を行います。

参加費
無料

事前申込
不要



意見交換会

お問い合わせ

丹波市議会事務局
☎ 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
メール
gikai@city.tamba.lg.jp

託児・手話通訳希望の方へ

市民プラザ会場のみ
託児室の設置と手話通訳者の
配置を行います。

5/7 (火) 17:00 までに
議会事務局へお申込みください。
※ 費用は無料

参加時の注意事項

主催者の広報活動、記録のために
録音、撮影をさせていただきます。
また、広報紙に写真を掲載させて
いただく場合もございますので、
あらかじめご了承ください。
参加者による無断録音・撮影は
固くお断りいたします。

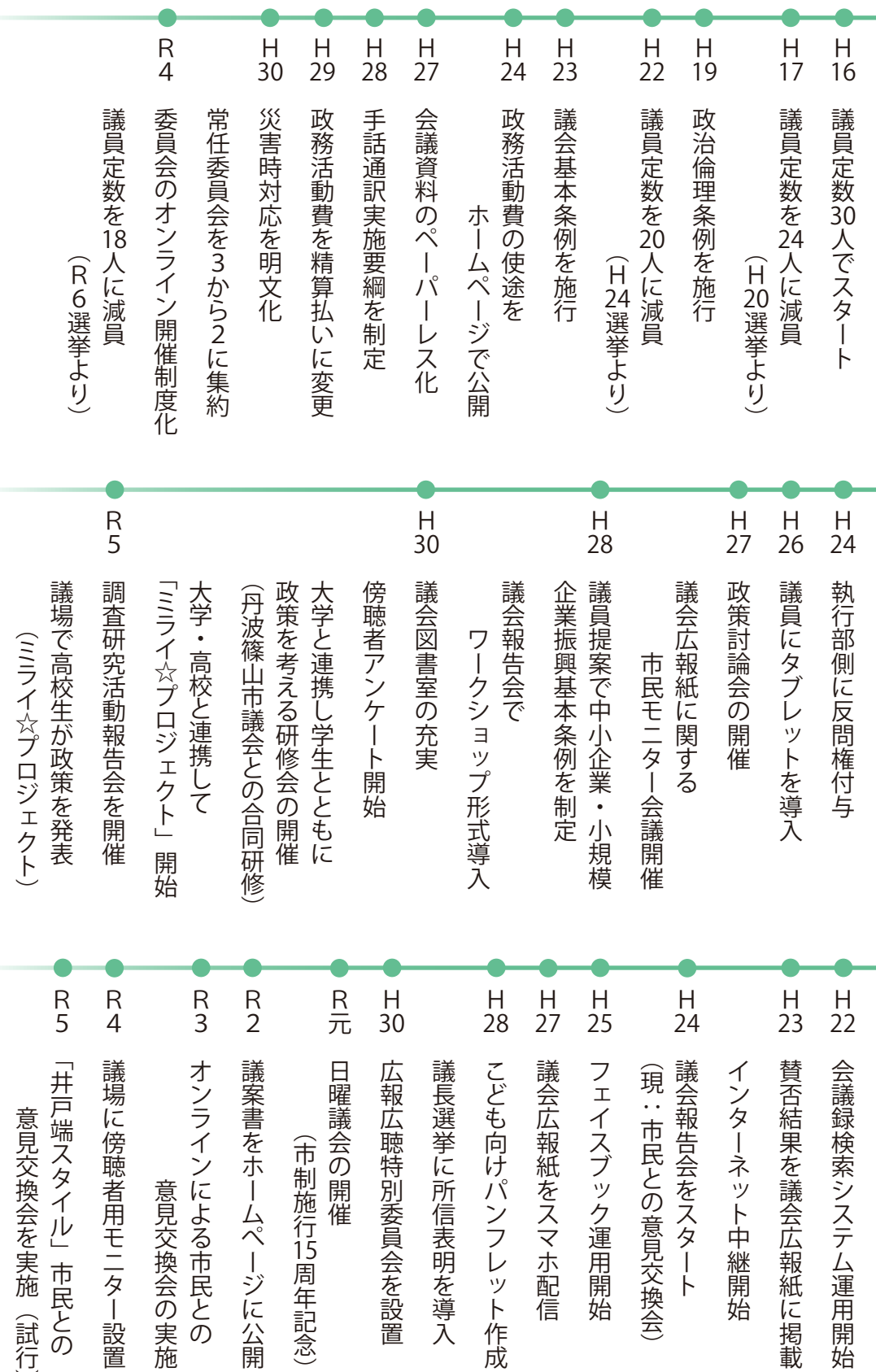
議会制度の改革

議員力の向上

開かれた議会

丹波市議会基本条例はその前文で、市民に対して積極的に
情報を公開し、市政への参画を求めることをうたっています。
また、自己研鑽及び資質の向上を図り、議員間で活発に討
議するとともに、行政の監視役として、持続的な緊張関係を
保たねばならないとしています。
この考え方をベースに、丹波市議会は「開かれた議会」へ
の歩みを進めてきました。

議会改革 20年の あゆみ



市営住宅の共益費は公平か？

市営住宅へ多くの市民が入居できるように、空室 40 戸の修繕等を行います。
この事業に対し、共益費の扱いについて議論になりました。

問 市営住宅の入居率や浄化槽と下水道等の違いで共益費に不公平が生じていないか。

答 各団地の条件により共益費に差があることは認識しています。公平性が図れるように、今後調査し検討してまいります。

問 入居希望時に、共益費等の情報提供が必要ではないか。

答 現在は共益費の金額まではお知らせしておりませんが、今後は、各団地の共益費等を把握して、事前に丁寧な情報提供ができるように検討してまいります。

高機能消防指令センター再整備で持続可能な消防体制を

運用開始から 8 年経過し、各装置の老朽化が進んでいます。令和 8 年 4 月運用開始に向けて再整備し（約 14 億 3 千万円：債務負担行為限度額 ）、引き続き 24 時間 365 日の安定した消防指令体制で市民の安全・安心の向上を図る事業です。議会では近隣市町との共同運用の可能性にも質疑が及びました。

問 高額な出費だが費用対効果はどうか。

答 消防指令センターの構成やシステムについて業務委託で検証しています。能率的なシステムの整備とコスト削減を目指していきます。

問 消防指令の広域化・共同運営について近隣市町とは、なぜ進められないのか。

答 過去には三田市・丹波篠山市と進めていましたが、両市との間でコスト面、人員面で折り合わず、共同運用協議は見送りとなりました。

 債務負担行為：1 つの事業や事務が単年度で終了せず、後の年度においても支出をしなければならない場合に、あらかじめ後の年度に必要な支出額を予算で決めておくこと。

問 再整備後に共同運用が進む場合、既存の機材は使えるか。

答 メーカーが同じであれば、使用は可能です。今後はメーカーが異なっても利用できる研究を進めます。広域化・共同運用のあり方は、今後も検討いたします。



「たんばゼロカーボンアクションプロジェクト」は形骸化しないか？

新年度予算の重点施策の一番目に「たんばゼロカーボンアクションプロジェクト」が挙げられ、事業進捗のマネジメントについての質問が出ました。

問 このゼロカーボンアクションを本当に実現させたいという思いがなかなか伝わってこないのだが、市長は本当に実現させたいと思って重点施策としたのか。

答 国として地球としてやっていかねばいけないことだと言われておりますので、議長と一緒にゼロカーボンシティ宣言をいたしました。そのときから、丹波市においてもしっかりとやっていきたいと思っております。

剪定枝を電気エネルギーに変えられないか？

剪定枝を青垣リサイクルセンターでチップ化し、売却している再資源化事業について、コスト面や物流面などから質問が出ました。

問 現状のように手数料が必要な資源ごみとして扱うだけでなく、木質バイオマス発電向けに有価物として持ち込むルートを確認することができれば、市民負担が軽減できるのではないか。

答 丹波市を介さず、民間事業者によって剪定枝が地域の資源となることが理想です。有価物として取扱いできるかどうかを含めて民間事業者と協議を進めてまいりたいと思います。



令和 6 年度予算を 議会が チェック！

問 2 月に行われた丹波市地球温暖化対策実行計画策定に向けた会議において、市民参加は 0 人とのこと。形骸化させないためにもしっかりしたマネジメントが必要なのではないか。

答 0 人という結果からも、地球温暖化対策という全市民に関係する課題でありながら、身近で自分ごとと感じていただける方が少ないと感じています。市民の皆様のゼロカーボンアクションの実践に結びつけられるように、呼びかけていきたいと思っております。

公共施設整備で どのようなゼロカーボン対策 をするの？

中学校体育館や青垣診療所の空調設備工事など、令和 6 年度に予定される脱炭素に向けた方針や内容について質疑がありました。

問 省エネ・脱炭素化に向けた工事に関して、丹波市として取組方針等があるのか。

答 既に策定している地球温暖化対策実行計画事務事業編の第 3 期実行計画で設備の改修方針や施設更新の方針を示しております。

問 体育館の空調には、かなりの電気代がかかると考えられるが、体育館の屋上で太陽光発電をしないか。

答 今回の工事にあたって、太陽光発電設備の設置は予定しておりません。

議員が注目する 新年度事業

議員の視点

3月定例会では令和6年度予算について慎重に審議しました。今回は、新年度の事業の中で各議員が特に注目した事業とその事業を選んだ理由についてご紹介します。



小川 庄策

- ・第2期丹波市生涯学習基本計画の策定
- ・道の駅あおがき再整備事業
- ・プラスチック製品の分別収集・再資源化

「生涯学習のまち」を目指し、人々の学びや活動などを通し、広い視野や豊かな心・自己幸福感や生きがい・学びから広がるコミュニティに期待する。／市内の周遊観光拠点に期待／再資源化への取組を期待



奥村 正行

- ・認知症高齢者等個人賠償責任保険事業
- ・防犯カメラの設置
- ・道路沿い支障木伐採事業

認知症の方がおられる家庭の心配事を和らげる事業、日常生活での偶発的な事故により、損害賠償責任を負った場合に、上限1億円の保険を市が保険契約として全額負担、対象者は負担なし。



渡辺 秀幸

- ・鳥獣被害防止のための集落環境整備
- ・地域伴走型支援者の配置
- ・道路沿い支障木伐採事業

少子高齢化へ向かう中、中山間地域の課題である鳥獣被害の減少を図り、通行の妨げとなる支障木伐採により、安心安全な地域づくりを望む。



須原 弥生

- ・「図書館のあり方」計画の策定
- ・権利擁護支援センターの開設
- ・子ども・若者サポートセンターの移転整備工事

今後10年間の図書館のあり方の計画を策定。楽しみである！／認知症等で判断能力が不十分な方などに対する総合的な相談支援センターが開設。成年後見人制度の利用手続き等、専門的・法律的な相談もできる。



藤原 悟

- ・権利擁護支援センターの開設
- ・子ども・若者サポートセンターの移転整備工事
- ・多文化共生社会の実現への取組

認知症、障害がある方、ひきこもりの方等に対して、両センターがこれまで以上に支援の役割を果たすと考え。／今後も外国人市民の増加が見込まれ、多文化共生を実現するための基本方針は早期に策定する必要がある。



小橋 昭彦

- ・「書かない窓口」の実現に向けた取組
- ・ラジコン式草刈機による地域の除草課題の解決
- ・「図書館のあり方」計画の策定

いずれもこれからの時代に欠かせない方向性。本来的には「行かない窓口」が理想／人手だけでは地域環境を守れない時代が目の前に／図書館は社会学習拠点に進化していくだろうがその方向性が見えてくるかどうか。

市道沿いの支障木を市の予算で伐採 要望する自治会にとって使い勝手は？

森林環境譲与税を活用し、山林から市道に張り出して通学や自動車の通行を妨げている支障木を、土地の所有者に代わって市が伐採する事業が予算化されました（390万円）。申請する側の地元自治会にとって使い勝手が良いか、議論になりました。

問 伐採後10年間は地元自治会及び土地所有者でその場所の維持管理をしなくてはならないということだが、負担になるのではないか。

答 維持管理に関する協定書は地元自治会と土地所有者、丹波市の3者で結び、市も一定の責任は負います。しかし通学路等市民の安全のためとご理解いただき、維持管理は地元自治会及び土地所有者が主体となってお協力いただきます。根元から倒伐しますので、下草刈などの作業が中心になるかと思います。

問 令和6年度予算で対応するのは何箇所か。現時点で自治会から要望が出ているのは何件くらいあるのか。

答 令和6年度予算で予定しているのは、以前から苦情が多くあった1箇所のみです。これまでに要望が出ているのは数件ですが、今後市内の各自治会に説明して要望を受け付け、通学路かどうかや通行量などにより優先順位をつけて順次取り組む予定です。なお、県道や国道沿いの場合はこの事業の対象になりません。

ラジコン式草刈機の実証実験 予算化に向けた調査は十分だったか？

高齢化により除草作業が困難になってきている自治協議会にラジコン式草刈機を貸与し、除草課題の解決に向けた実証実験を行う計画が示されました（約900万円）。他自治体で類似の実験もあり、予算化にあたり十分な調査を行ったかが議論になりました。



ラジコン式草刈機

問 実証実験というが、具体的にどのようなことを実証する計画なのか。

答 除草作業を地域課題として主体的に解決に取り組む予定の佐治地域及び遠阪地域で2年間の実証実験を行います。自治協議会での機械の管理や運用の手順等について確認し、その結果を踏まえて、他の自治協議会にも導入することを考えています。

問 県でもすでに実証実験を行った事例があると聞く。それらの結果を調査した上で予算化したか。

答 県の実験については確認していませんが、他の自治体での導入状況等について調査しました。機械の導入は夏頃を予定していますので、それまでの間に先行実験の結果などを確認し、検証の効果が得られるようにします。

■新年度注目事業



にしもと よしひろ
西本 嘉宏

- ・中学校6校の屋内運動場空調設備の整備工事
- ・地域づくり交付金の見直し
- ・道路沿い支障木伐採事業

中学校体育館の空調設備の整備は、熱中症対策や避難所対策としても有効／地域課題の解決と市民の主体的な活動による持続可能な地域づくりを／森林環境譲与税で通学や自動車通行に支障をきたす支障木を市が伐採



おおた いっせい
太田 一誠

- ・丹波竜の里公園周辺の再整備
- ・青垣診療所改修工事実施
- ・柏原斎場火葬炉設備等改修工事

公共施設を知る教育と考えた場合、箱物やモニメントなどに関わる時に子どもの体験教育が大切である。教育的観点から企業やまちづくり体験を俯瞰して考える施策に転換し将来子どもが帰りたいまちとするのが重要だ。



おおた けいちろう
太田 喜一郎

- ・たんばゼロカーボンアクションプロジェクト
- 市指定燃やすごみ袋をバイオマスプラスチック配合ごみ袋に切り替える事業

昨年の予算決算常任委員会において、バイオマスプラスチック配合ごみ袋の導入を提案したが導入は考えていないとのことであったが、新年度より脱炭素社会の実現に向けて取り組むとしているので評価したい。



さかい こうじ
酒井 浩二

- ・認定こども園を運営する法人への支援
- ・路線バス運行社会実験の実施
- ・小・中学校施設の整備

保育ニーズの多様化や保護者の就労環境の変化などに伴い、保育教諭不足や保育現場の負担が増大する中で、法人が安定して運営できる体制と安全で安心して子どもを預けることができる環境整備が重要である。



あだち よしまさ
足立 嘉正

- ・丹波竜の里公園周辺の再整備
- ・丹波竜化石工房拡充工事関連業務の実施

教育部局所管の整備事業ではあるが、『丹波竜を活用したまちづくりの推進』のみならず過疎地域に指定された山南地域への観光誘客を図ることができ、関係交流人口の増加が多いに期待される。



まえがわ しんすけ
前川 進介

- ・市民参加型合意形成プラットフォームの導入
- ・漢方の里総合運動公園の整備
- ・子ども・若者サポートセンターの移転整備工事

合意形成には「傾聴」が必要不可欠。オンラインワークショップによって意見を集めることはできても、多様な考えを持つ市民の合意形成までは難しいのでは。そのことに配慮し、工夫して活用していただきたい。



やまな たかえい
山名 隆衛

- ・道路沿い支障木伐採事業
- ・路線バス運行社会実験の実施
- ・女子野球タウンに関する取組

市道に張り出していた支障木を土地所有者に代わって市が伐採整備する。地元住民からの苦情が多い課題解決に向けて期待する。／周辺地域から中心部への本格路線バス運行の早期実現を期待する。



たにみず ゆういち
谷水 雄一

- ・行政イントラネットワークの最適化
- ・認定こども園を運営する法人への支援
- ・ラジコン式草刈機による地域の除草課題の解決

庁舎・支所の整備方針が議論凍結のまま全庁舎に関わる財政投資を審議できるのか。総合計画・行革プラン等々将来的な市の構想・財政計画に影響しないのか。／少子化することも園の運営、自治会等直面する構造的人手不足



おおにし ひろみ
大西 ひろ美

- ・市民参加型合意形成プラットフォームの導入
- ・環境に配慮した林業施策の推進
- ・認定こども園を運営する法人への支援

10年前に消滅可能性都市と指摘された丹波市が今後持続可能な自治体であるためには、市民とのコミュニケーション強化が重要。デジタル技術を活用し、子どもからおとなまで幅広く市民からの意見に期待する。



こんどう のりお
近藤 憲生

- ・市制施行20周年記念事業関連予算
- ・丹波市観光アンバサダーによる魅力発信
- ・高校魅力化支援事業

20年といえば人間でいう二十歳になる。市民全員で市制の二十歳をお祝いしましょう。／丹波市の食・名所の全国発信を期待する。／市内3高校を存続させるため有効な支援を願う。



ひろた まゆみ
広田 まゆみ

- ・たんばゼロカーボンアクションプロジェクト
- ・自動録音電話機等購入費補助金
- ・認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

子どもたちの未来を守るためには、地球を守らないといけない！！脱炭素社会の実現を！／高齢者に対する特殊詐欺防止を図り、また認知症の方やその家族が安心して住み慣れた地域で暮らしていくために。



よしづみ つよし
吉積 毅

- ・たんばゼロカーボンアクションプロジェクト
- ・対象20業務の標準準拠システムへの移行開始
- ・丹波竜化石工房拡充工事関連業務の実施

バイオマスプラスチック配合のごみ袋への切り替えなど脱炭素化への経費を注視／国のシステム標準化へ移行による人的・財政的負担軽減につながる取組の推進を／丹波竜コンテンツを最大限活用できる施設拡充へ期待



にしわき ひでたか
西脇 秀隆

- ・小・中学校施設の整備
- ・漢方の里総合運動公園の整備
- ・河川維持事業

体育館の空調設備への実施設計業務が盛り込まれた。／閉校となる旧和田中学校と薬草薬樹公園を一つの運動公園にするもの／防災・減災対策から市の管理河川の土砂撤去、その他の河川修繕工事

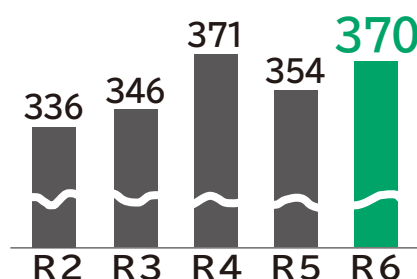
令和6年度一般会計予算

370 億円

8つの特別会計及び公営企業会計

約 258 億円

一般会計予算の推移



16億円増



丹波市予算ガイドはこちら

■新年度注目事業

全員賛成で可決・認定・採択した議案

2月臨時会	
議案	
改正条例	○ 手数料条例
補正予算令和5年度	○ 一般会計（第9号）
3月定例会	
議案	
案人件	○ 人権擁護委員の候補者の推薦 山中 恵美子 氏 荒木 伸雄 氏
令和6年度当初予算	○ 一般会計
	○ 国民健康保険特別会計直診勘定
	○ 介護保険特別会計保険事業勘定
	○ 訪問看護ステーション特別会計
	○ 地方卸売市場特別会計
	○ 駐車場特別会計
	○ 看護専門学校特別会計
令和5年度補正予算	○ 水道事業会計
	○ 下水道事業会計
	○ 一般会計（第10号）
	○ 国民健康保険特別会計事業勘定（第3号）
	○ 国民健康保険特別会計直診勘定（第3号）
	○ 介護保険特別会計保険事業勘定（第3号）
	○ 訪問看護ステーション特別会計（第3号）
条例制定	○ 後期高齢者医療特別会計（第2号）
	○ 看護専門学校特別会計（第3号）
	○ 下水道事業会計（第3号）
	○ 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
	○ 上下水道事業運営審議会の設置に関する条例

議案	
条例改正	○ 丹波市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
	○ 市立青垣児童公園条例
	○ 市税条例等
	○ 市営自転車等駐輪場条例
	○ 市営駐車場条例
	○ 消防団員等公務災害補償条例
	○ 介護保険条例
	○ アフタースクール実施条例
	○ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
	○ 水道事業給水条例及び水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例
廃止例	○ コミュニティ・プラント及び農業集落排水処理施設条例
	○ 市税条例
	○ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
契約締結	○ 新型コロナウイルス等感染症対策基金条例
	○ 柏原斎場火葬炉設備等更新工事
	○ 生徒用学習机・椅子の購入
	○ 小学校指導者用デジタルブック購入（2件）
	○ 丹波竜化石工房拡充工事関連業務
その他	○ 市島支所及び市島農村環境改善センター解体工事の変更
	○ 過疎地域持続的発展計画の変更
	○ 兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更に係る協議
	○ 市有財産の無償譲渡（梶原自治会）
	○ 市営住宅新川町団地の廃止 ^特

全員賛成で可決

議案の審議結果

賛否が分かれた議案と審議結果

議案		結果	賛成	反対	小川庄策	奥村正行	渡辺秀幸	須原弥生	藤原 悟	小橋昭彦	前川進介	大西ひろ美	山名隆衛	近藤憲生	谷水雄一	広田まゆみ	吉積 毅	西脇秀隆	西本嘉宏	太田一誠	太田喜一郎	酒井浩二	足立嘉正	垣内廣明
案人件	教育長の任命 片山 則昭 氏	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
当初予算令和6年度	国民健康保険特別会計事業勘定	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	議長
	後期高齢者医療特別会計	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	議長
改正条例	国民健康保険税条例	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	議長

※ ○は賛成、●は反対、■は賛成・反対討論を行った議員。
※ 議長は議事進行を行うため、特別多数議決を除き原則として採決には加わりません。賛否同数の場合のみ議長は裁決を行います。
※ 特別多数議決^特：重要な公の施設の廃止など、特に重要な議案については3分の2以上の賛成を必要とし、議長も採決に加わります。

審議結果はこちら▶



ご要望を受けて委員会で調査しました

市議会にご要望いただいた中で、より詳しく調査すべきと判断したものについて所管の委員会で調査しました。

丹波市役所旧柏原支所の行政財産化についての要望書

【要望内容】

令和6年2月2日付で柏原自治協議会より「旧柏原支所の活用方法」、「旧柏原支所が行政財産になり得る点」及び「旧柏原支所ゾーニングプラン」資料を付し、これらの考え方にに基づき、旧柏原支所を行政財産とするよう要望を受けました。

【委員会でのやりとり】

市当局から経過報告並びに県民局の「まちの拠点創造プロジェクト」の進捗状況の説明を受け、委員会で質疑しました。「今後の対応については、地元からの提案も含め実現可能か庁内で検討を進めたい。活用策は地元と協議し考えるが、行政財産化はハードルが高いので民間活用も含めて検討したい。」と答弁がありました。

【総務文教常任委員会の意見】

市当局には要望書・陳情書の願意、委員会で出た意見等を十分参考にし、事業計画を慎重に進めていただきたい。

※「平成26年8月16日丹波市豪雨災害復旧に係る下鴨阪地区獣害防護柵設置工事に係る丹波市行政の不作为の是正に関する陳情書」は、民生産建常任委員会で調査中です。

山南地域過疎対策に関する陳情書

【陳情内容】

令和6年2月14日付で山南地域自治協議会連絡会より「企業誘致で移住を促す」、「交流人口を増加させ、移住に繋げる」の2つの方針に沿った山南地域の特色を活かした過疎対策事業の実施を求める陳情を受けました。

【委員会でのやりとり】

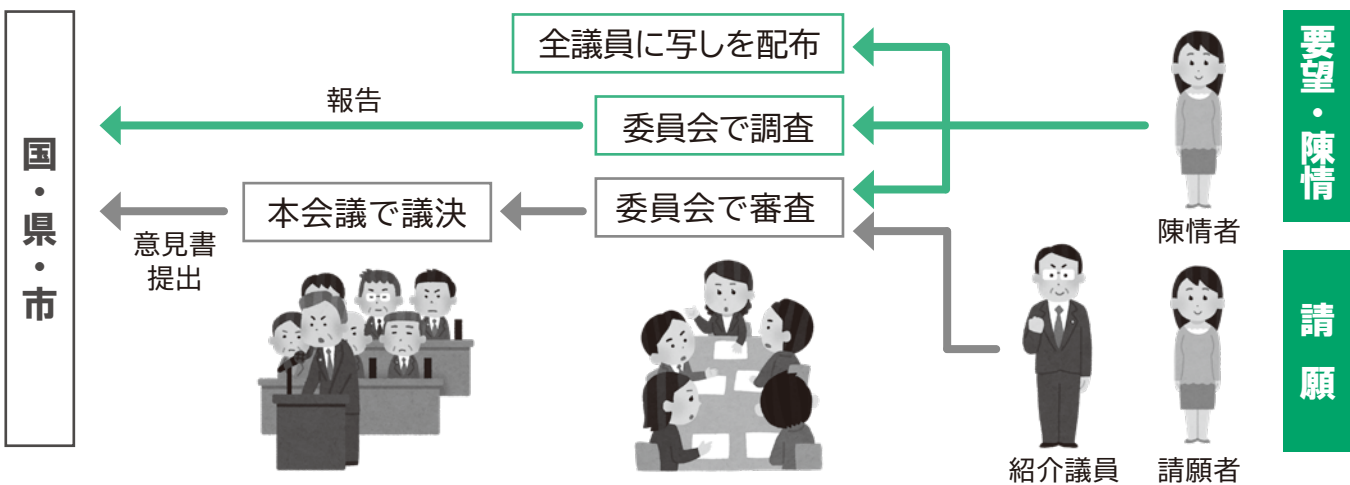
市当局から過疎計画については、柔軟性を持ちながら幅広い視点で事業を精査し、実現可能性の高いものを計画に位置づけてきた旨の説明を受けました。地域等との調整が整ったものについては事業の実現度などを考慮しながら、計画に追記していくとの答弁がありました。

あなたも議会に‘声’を届けませんか？

議会にあなたの要望などを届ける方法には2種類あります。請願には紹介議員が必要ですが、陳情（要望）の場合はひとりからでも可能です。決まった様式はありませんので、どうぞ声を届けてください。



請願・陳情



■ 一般質問

問 現在改修工事を進めている漢方の里総合運動公園に災害対応機能を付加してはどうか。

答 一時避難場所等に指定する予定です。旧和田中学校に災害用の井戸を設置し、マンホールトイレの整備を検討するなど、現有の機能を最大限活用します。一時避難所となる小学校など井戸設置の整備を進めています。

問 行政職員の災害派遣手当について

答 現行、その取扱いはありません。今ある規定に基づき対応しています。今後、国の通知、他市町の取組状況も参考に研究します。

問 スマート農業には、効率的な機械動線確保のため圃場等の整備、高額な資金が必要である。今後、就農林業人口が減少し、休耕田・山が予測される。大雨による土砂災害も頻発する中、農業生産UP、山の整備も一緒に図れる防災対策を一体的に進めてはどうか。

答 大変有効な提案だと思いますが、圃場整備と治水を同時に進めていくことはなかなか難しいと感じています。しかし、なるほどと考える所もありますので研究します。

丹新会

今回は
7人の代表質問と
9人の一般質問が
行われました！

農業×防災のまちづくりについて

別々の計画ですが、有機的に連携させ効果的になるよう研究します

谷水 雄一 議員



創生会

令和6年能登半島地震にかける支援と学びは

地域防災計画の課題に十分留意して全面改定します

山名 隆衛 議員



問 女性の視点に立つた災害対応を推進する姿勢があるか。

答 現在、防災担当の女性職員はいません。災害対策において女性目線の必要性は認識しています。女性の声を聞きながら災害対応準備を進めています。女性防災担当職員の配置については、今後配慮します。

問 持続可能な消防体制のあり方は

答 人口の低密度化が進む丹波市ではあるが、災害等に即時対応するための体制を維持することができるか。

問 消防本部の規模で、消防力や住民サービスに大きな差が起きるとは言えないと考えておりますが、小規模消防本部での消防力の増強整備が困難となることが予測されます。広域化の必要性は効果的、効率的な消防体制の整備を図ることが極めて有効であることから、調査・検討を継続してまいります。

問 青垣救急駐在所の増改築・移転は考えないか。

答 24時間体制を決める時には、移転含めて人員と施設、資機材を最大限、活用を図り、調整をしていきます。

問 令和3、4年度で相談窓口を通した移住者が一番多いのは青垣地域で、逆に一番少ないのは山南地域。従前の取組では山南の過疎化が止まらない。青垣、山南各々の対策があつて然るべきだと思つが市長はどう考えるか。

答 地域に応じた対策を考えたことはそこまでありません。

問 部長はどうか。

答 必要だと思います。

問 山南地域からの市長への要望書前文には、山南の現状を踏まえた過疎対策をしてほしいと書いてあるが、どう考えるか。

問 前文についてはあんまり読んでいなかったです。

問 戦略を含む非常に重要な箇所だ。要望書の内容を総合的に理解してほしい。

答 それを読んだ時に、その予算を確保するのが難しいのでしんどい話だと思いました。

問 要望書の中身もろくに読んでいないのに、できない理由を並べている。理解をいたうえで、「これならできるかな」という発想にはならないのか。

答 一部の要望事項には対応しています。が、全部をできる方法は考えられません。

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる重要な機会です。私たちの生活に関わることについて質問や提言を行いました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は 60 分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め 60 分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。

〔検索ワード〕丹波市議会インターネット中継



問 結婚を望む方のために、さらに行政主体でさらなる婚活支援を



「ひょうご出会いサポートセンター」〔提供：兵庫県〕

問 転入促進、転出抑制等を図るために「コンパクトシティ」のような暮らしやすい丹波市を目指す「まちづくりの方向性」を示すことが必要と考えます。市長のビジョンは。

答 総合計画や都市計画マスタープランを踏まえ、持続可能なまちづくりに向け、市民が居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等のさまざまな都市機能サービス享受できるように検討が必要と考えます。

問 転入促進、転出抑制を取り組むことが重要と考える。令和6年度に取り組む内容は。

答 婚活おせっかいマスターとの協働やAーマッチング機能を備えた新システムを導入した兵庫県の「ひょうご出会いサポートセンター」の利用を推進しながら、結婚相談者の登録を増加させ、出会いの機会を増やせるよう取り組みます。

公明党

市政運営におけるまちづくりの方向性は

「市まちづくりビジョン」が具体的に反映されたものではありません

藤原 悟 議員



新風クラブ

これまでの内水被害は解消できるか

浸水被害の解消もしくは軽減が図れるものと考えています

酒井 浩二 議員



問 雨水管理総合計画に対策後の氾濫解析浸水深が減少と示されているが実効性はあるか。また、学校施設整備計画に校庭貯留の設置予定はなく、ため池活用で管理者との協議も行っているようにないが、自助を求めるだけでなく、公助として積極的に内水問題に取り組まないか。

答 地元自治会など現場立会や協議を行い地域の特性・要望に沿った対策内容としております。また、校庭貯留などは雨水流出を抑制する有効な手段であり関係機関と連携調整してまいります。

問 近年、開発申請増に取水事業で雨水対策

問 地元自治会など現場立会や協議を行い地域の特性・要望に沿った対策内容としております。また、校庭貯留などは雨水流出を抑制する有効な手段であり関係機関と連携調整してまいります。

問 提案内容を検討し調査研究を進めてまいりたいと思います。

答 提案内容を検討し調査研究を進めてまいりたいと思います。



ボックスカルバート：地中に埋設され雨水などを流す管路で箱型のコンクリート構造物のこと。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。



丹波市を充実した生涯
学習のまちへ

豊かな人生となる生涯
学習活動を積極的に支
援してまいります



日本共産党議員団



公約の「ごみ袋半額化」
はいっ提案するか

適正な時期に「燃やす
ごみ袋の半額化」の提
案を考えています



問

丹波市では、第2期丹波市生涯学習基本計画に向けて取り組まれている。「学び」を通じた、学習意欲の向上・行動支援への考え方はどうか。

答

丹波市においては丹波市生涯学習基本計画に掲げる「知識循環型生涯学習の推進による持続的なまちづくり」をめざし、市民の主体的、継続的な生涯学習の成果を活かし、市民一人ひとりが生き生きと活躍し、地域が活力を持ち続けるための施策を推進し、積極的に支援します。

改正空き家法

問

空き家は危険空き家（特定空き家等）

地域通貨の更なる活用

問

たんばコインを地域づくりにも活用できないか。

答

将来的には、地域通貨の活用だけでなく、市民生活の利便性の向上に寄与することを期待しますが、時間を要すると考えます。

問

公約に掲げている「県下一高いごみ袋の半額化」は、いつ提案されるのか。

答

市民の期待に応え、経済的負担を減らし、住みよいまちづくりのために、適正な時期に提案します。

問

会計年度任用職員等の飲酒・無届け事故による懲戒処分を行わなかったのはなぜか。

答

「懲戒処分の基準」に基づき他市の処分事例、過失の程度や事故後の対応のほか、日頃の勤務態度等も含め、総合的に考慮の上判断、決定したものです。

子ども子育て政策

問

「子ども基本法」に基づく子ども施策等への子どもの意見反映はできているのか。

答

すべての部局で子ども・若者の意見を反映できるよう取り組みます。教育委員会では、第3次教育振興基本計画の策定に向けアンケートの実施や授業で意見を得る学習をしています。

災害時の断水対策

問

能登半島地震の教訓から長期の断水対策として防災井戸の整備と災害用井戸の事前登録制度はどうか。

答

非常時に安心して生活用水を確保できる共助として有効であり検討を進めます。

問

県は2028年度に丹有地域で2高校を減らす方針である。市内3高校の存続を県教委に強く要請すべきでないか。

答

今までも県に住民の声をよく聞いてほしいと再三要望しており、市内3高校存続を望んでいます。令和5年度から高校魅力化事業に取り組んでいます。

教師不足・人権教育について

問

全国的な教師不足をもたらししているのが教師の長時間労働である。丹波市の学校ではどうなっているか。

答

同和教育は解消しつつあり、同和教育を市の人権教育の柱にする方向は間違っていないのではないかと考えています。



市内3高校の存続を要
請すべきでないか

今までも県に市内3高
校存続を訴えています



問

現在、常勤講師1名が未配置になっています。昨年度の長時間労働は超過勤務で月80時間を超える人が106人で、産業医による面接指導をしています。今年度からスクールサポーター1名を全校配置しています。今後も教師の働き方改革に取り組んでいきます。

問

同和教育は解消しつつあり、同和教育を市の人権教育の柱にする方向は間違っていないのではないかと考えています。

答

同和教育は解消しつつあり、同和教育を市の人権教育の柱にする方向は間違っていないのではないかと考えています。



農福連携の今後の取組

関係部署の連携を強化し推進体制を整え、機運の醸成を図ります



問

農福連携を促進するためには、農業と障がい者就労支援事業所の課題やニーズを丁寧に調査したうえで、浸透や醸成を図るための体制整備が必要ではないか。

答

農業者と就労支援事業所がつながる農福連携の取組は年々広がっていますので、改めてのニーズ調査の予定はありません。

問

子宮頸がん予防接種の機会の確保を

問

子宮頸がん予防接種の勧奨差し控への影響を受けた対象者への公費接種終了日が迫っているが最終周知は、また、男性自身の疾病と女性への感染防止のためにHPVワクチンを男性が接種する際の費用の助成はできないか。

問

地域医療福祉について

問

丹波市内の開業医不足の対応はどうか、青垣診療所のようにチーム診療体制を市に求められないか。地域密着型基準条例の改正に伴う医療機関との連携等の法令遵守は、市が開業医を招聘することは難しいですが、今後も地域と情報の共有に努めます。医療と介護の連携強化による緊急時の対応力の向上は、医療機関の負担軽減にも繋がると考えています。

過疎対策について

問

過疎地域の声と市の課題解決にむけて協議の場は「いつ」



施政方針から市の説明責任を問う

これまでの事業についても十分説明しています



問

あるのか。「時」が抜けてないか。また、今後の過疎対策は具体的にどのような取り組みになるのか。

答

個々の事業については、事業の実現性の可否の判断、地域等との調整を踏まえたうえで、事業実施を判断した場合は、予算化してまいります。

インフラ整備計画について

問

今後30年財政面の課題はないのか。

答

人口減少による料金収入減と施設の後丹波市新水道ビジョン」を策定し、丹波市の水道事業の理想像を示してまいります。



看護専門学校学生寮の利用率アップが必要だ

引き続き入寮生の増加に努めます



問

地域枠を拡大した効果と学生寮の利用状況は。

答

昨年度から地域枠の募集人数を5人程度から15人程度に増やしており、今年度の志願者数は地域枠創設後最多の33人です。

問

学生寮の利用状況は、今年度は30室中15室となっており、利用率は減少傾向にあります。利用率アップの対策としては、入学予定者について、市内を含めて近隣市町村からも使用申請を受け付ける方針としており、案内しています。

市政運営方針と旧町ビジョンの関連はどうか

問

市長の令和6年度市政運営における方針は「未来へ続く希望に満ちあふれるまち」だが、地域の賑わいを掘り起こすような旧町毎のビジョンはあるのか。

答

賑わいのある地域を形成していくことは、地域活性化を図るうえで重要と考えています。そのため、旧町毎のビジョンとしては、都市計画マスタープランで地域別構想をまとめているが、より市民に身近な自治協議会において、地域特性を踏まえた将来像が掲げられていますので、市として地域支援をしてまいります。



新庁舎建設と大規模改修の比較検討はどうか

必要な時期に比較検討し、議会や市民の声を聞き慎重に検討します



問 庁舎整備事業基金の積み立てはどうか。

答 毎年度、決算剰余金が増加した後は、積み立ての可否及び金額を決定します。

問 物価高騰等を踏まえた地域経済対策はどうするのか。

答 中小企業者においては、「中小企業者物価高騰対策支援金」の支援に取り組んでいます。今後においても、様々な事業者に対する支援については、国・県の支援策や施策の財源となる交付金などの動向を注視しながら効果的な支援策を講じます。

問 市の発注する事業が少なくないと思う。公共事業の前倒しによる事業者支援は考えられないか。

答 公共工事の発注については、適正な工期の確保にむけて発注の準備を行っており、公共工事労働単価や資材単価についても最新の単価を適用しています。そのため、公共工事の前倒しによる事業者支援はしません。

問 丹波篠山市のように、運送事業者等への支援は考えられないか。

答 財源のこともありますが、国の交付金等も踏まえ考えていきます。

人口減少に向け婚姻数を増やす対策が必要

女性が社会増となるよう分野横断的に取組を進めてまいります

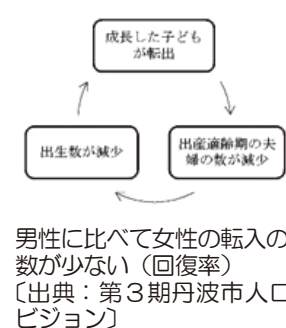


問 2030年には子どもを産む世代の急減が起ころうとする。若い世代が結婚しようとする意識が高まる施策を今以上に進めるべきではないか。

答 女性をターゲットとして、価値観が尊重される地域、魅力的な働く場の創出や子育てしやすい環境整備を進めます。国県の支援制度を注視し、市の施策状況を見ながら、引き続き有効な対策を庁内連携して進めてまいります。

問 有効活用を検討すべき。氷上クリーンセンター跡地にグラウンドゴルフ場を設置し、災害時に活用できる整備を進められないか。

答 跡地は埋立工事が令和4年度に完了し、現在、廃止に向けて県と協議を行っています。グラウンドゴルフ場整備は現在考えていませんが、活用方法は地元と調整しながら進めてまいります。災害時の仮設住宅設置や資材置き場としての利用は今後の参考とさせていただきます。



消滅可能性都市と指摘され、市民の認識は強いメッセージ性は慎重にしっかりと伝える必要があります

強いメッセージ性は慎重にしっかりと伝える必要があります



問 2014年「消滅可能性都市」に丹波市が含まれ、市民にも見える化した伝え方が必要である。知ることにより、考え行動へとつながると考えられるため、危機感を持つて市民に伝える必要があるのではないか。

答 人口問題は静かなる有事であると認識しています。危機感を伝える言葉は、慎重に考えてまいります。

問 参加型合意形成プラットフォームの導入に際し、いろんな情報を図も併用しながら示すことが重要と考えるが、いかがか。

答 これからは図等を使って分かりやすく見える化するすることは大変大事なことで、思っております。

問 市民とともに育つ図書館を目指して

答 滞在型図書館を目指してはどうか。近隣市町に比べかなり狭く、多くの利用者が長時間滞在に十分なスペースが確保できない状況です。

問 展示コーナーに椅子を置いたり、市民の情報活用能力を高めるための研修等ができるか。

答 利用者の声を十分に聴きながら、「図書館のあり方」を丁寧に進めてまいります。



「帰ってこいよ」といえるまちの具体像は移住相談窓口を通した3つの姿を目指します

移住相談窓口を通した移住世帯数を指標とし3つの姿を目指します



問 若い世代からは「帰ってこいよ」は上から目線に感じると聞く。具体像としては何を目指すのか。

答 市民が「住み続けたい」、それを見た人が「住みたい」、市外に出た人が「帰ってきたい」と思える、3つの姿を目指します。移住相談窓口を通して移住世帯数が成果指標です。

問 「社会増2人」と言われているが、昨年はどうだったか。

答 昨年の数字は把握できていません。昨年はかなり減っている。1年前に、単年度のことから、

問 そこはあまり言いすぎないように伝えたい。中身を分析し、政策を伴って語るのが市長の仕事ではないか。

答 この場での答弁は答弁書のとおりですが、以降は私の思いを語っています。各議員の一般質問も個人の思いを出されているものと理解しています。

問 各議員は政策提言をしている。それを個人的な発言というのは不適切では。

答 各議員はそれぞれ思っていると思います。しっかりと受け止めた中で議論させていただきます。



子どもたちが安心して学べる居場所を

すべての子どもがワクワクしながら登校してくる学校をめざします



問 令和6年度教育方針にもある「丹波市版ウェルビーイング」とは具体的にどのようなかことを実現されるのか。

答 協力的な学習や自治的諸活動を通して、仲間や教員との信頼関係を築き、人とのつながりや絆を育むことで、幸福感を高め、協働性を養いながら、多様性への理解を深めていきたいと考えます。

問 協働的な学習や自治的諸活動を通して、仲間や教員との信頼関係を築き、人とのつながりや絆を育むことで、幸福感を高め、協働性を養いながら、多様性への理解を深めていきたいと考えます。

答 各地域の消防団員と消防団業務の担当者との連携は、業務集約後におきましても従来どおりであり、引き続き、消防団の自主性を尊重しながら、事務局として消防団活動の支援にあたっております。

問 各支所の消防地区主任の業務集約が行われるが、火災や災害等の緊急時に消防地区主任と各消防団員は、どのように連携し活動するのか。

答 各支所の消防地区主任の業務集約が行われるが、火災や災害等の緊急時に消防地区主任と各消防団員は、どのように連携し活動するのか。

問 各支所の消防地区主任の業務集約が行われるが、火災や災害等の緊急時に消防地区主任と各消防団員は、どのように連携し活動するのか。

答 各地域の消防団員と消防団業務の担当者との連携は、業務集約後におきましても従来どおりであり、引き続き、消防団の自主性を尊重しながら、事務局として消防団活動の支援にあたっております。

第5回

井戸端スタイル 市民との意見交換会

令和5年5月から始まった井戸端スタイル市民との意見交換会。市民の方5名以上から受け付け、いただいたテーマに沿って所管する各常任委員会の委員が参加しています。

令和6年1月14日に令和5年度最後の意見交換会を開催しました。

テーマ

- ① 2自治会にまたがって行う治水対策について
- ② 道路整備について
- ③ 河川整備について

参加議員

小川庄策、須原弥生、前川進介、西脇秀隆、太田一誠



大谷公民館にて
市民 7名参加

1/14



※ いただいたご意見は民生産建常任委員会で協議しました。結果はホームページにて報告しています。

委員会行政視察報告

議会運営委員会 1月24日～25日



議会改革の取組 (宮城県柴田町)

常任委員会において2年間の活動計画書を作成し、それに添って委員会運営を行うことで執行部への政策提言につながるように工夫されていました。



政策提言の取組等 (岩手県奥州市)

議員間討議のガイドラインを策定し、政策提言の合意形成に向けた仕組みを整備されていました。また、議場モニターへの同時字幕表示など先進的な取組をされていました。

本会議や委員会の視聴は パソコン・スマホが便利♪



市議会では、本会議や委員会の様子をインターネットで動画配信しています。録画映像も公開しておりますので、見逃した方もパソコン・スマートフォンでご覧になれます。(録画映像は会議終了後、1週間程度で公開)



FM805たんば 「議員さん こんにちは！」で 「たんばりんぐ」情報発信中！

議会をもっと身近に



放送日

4月23日(火)
午後8時30分～
※再放送は
4月27日(土)
午後3時30分～

フェイスブックでも 市議会情報を発信中

丹波市議会では、本会議や委員会の日程のほか、市議会からののお知らせをフェイスブックでも配信しています。



マチを好きになるアプリ マチイロ

マチイロは、全国800を超える自治体で導入されているスマートフォン用アプリです。広報たんばやたんばりんぐをスマートフォンで見ることができます。



※「マチイロ」の利用料は無料(通信費は利用者負担)

(注)アプリの運営会社が掲載する広告が表示される場合がありますが、内容に関しては一切責任を負いません。



たんばりんぐを
スマホへお届け

6月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
		本会議 議案提案 9:30～				
2	3	4	5	6	7	8
		本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～		
9	10	11	12	13	14	15
			本会議 議案質疑 委員会付託 9:30～			
16	17	18	19	20	21	22
		総務文教 常任委員会 9:30～	民生産建 常任委員会 9:30～		予算決算 常任委員会 9:30～	
23	24	25	26	27	28	29
	常任委員会 予備日		本会議 議案採決 9:30～			

* 上記の日程は変更になる場合があります。
最新の情報はホームページなどでご確認ください。



民生産建常任委員会 調査報告

農地管理に関する事項について

農地において耕作放棄地が増えてきています。岡山県吉備中央町への視察や、農地管理に取り組まれている市内2団体との意見交換会などを行い、耕作放棄地の改善について所管事務調査を行いました。3月定例会で今後の農地管理について次の提言内容を報告しました。

- 1 小規模農家であっても3者以上集まることで、機械購入の補助ができないか。
- 2 非農家を含めた地域での農地保全、環境保全活動等への意識向上と参加促進の強化を図られたい。
- 3 農業者への各種補助金や最新情報等の発信を強化されたい。
- 4 「オーガニックビレッジ宣言」を具体的な施策へ反映する体制を整備されたい。

総務文教常任委員会 調査報告

高校生提案をきっかけに 投票所のあり方を調査しました

令和5年度に実施した市内高校生・福知山公立大学生との「ミライ☆プロジェクト」で高校生から提案された「移動投票所や高校に投票所を設置する」について、総務文教常任委員会で丹波市の現状や他自治体事例等を調査し、以下の要旨で結果を報告しました。

- 1 投票率向上に投票所の効果的な配置は重要である。
- 2 投票所運営の人員配置の面からは工夫が必要になる。
- 3 複合商業施設に期日前投票所設置が予定されている。
- 4 3の効果も参考に、引き続き投票所のあり方を検討されたい。

全国各地から

視 察 を受け入れました

丹波市議会では、議会改革や広報広聴活動などの視察を受け入れています。令和5年度は全国各地から7つの市議会にお越しいただきました。

	視察受入れ議会	視察内容
令和5年	4月 兵庫県養父市議会 (議員定数・報酬等)	
	5月 熊本県玉名市議会 (広報広聴)	
	10月 島根県雲南市議会 (広報)	
	11月 広島県廿日市市議会 (広報広聴)	
令和6年	1月 大分県佐伯市議会 (議会改革・広聴)	
	2月 山形県米沢市議会 (広報広聴・ミライプロジェクト)	
	岐阜県土岐市議会 (ミライプロジェクト)	

このほかに総務省からの視察もありました。(総務省ホームページに主権者教育の取組事例としてミライプロジェクトが掲載されています。)



丹波市議会の取組について説明する議員

音響のよい
音楽ホールの
維持をお願い
します。

「帰ってこいよ」の
一環としての文化
助成の創設を期待
します。

練習会場や音楽
ホールの使用料が
安くなると
うれしいです。



丹波市少年少女合唱団の皆さん

市内に住む小学1年生から高校3年生
までが活動しています。定期演奏会や
クリスマスコンサートなどに多数出演
しています。



丹波市と市議会にココを期待しています！



氷上混声合唱団パストラルの皆さん

古典から現代までのあらゆるジャンルの曲
を歌う混声合唱団として丹波市を拠点に活
動しています。コーラスの楽しさや素晴らし
さを伝えたいという思いで歌っています。

少年少女合唱団の育成
をはじめ、若い頃から
の音楽文化を楽しめる
イベントや継続的な活
動への理解と支援をお
願いします。

掲載団体募集中！（市内の非営利活動団体に限る）

広報広聴委員会ではこのコーナーに参加いただける団体を募集しています。
ご希望される団体の方は下記までご連絡ください。

※ 個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

「発行責任者」
議長 垣内 廣明
「広報広聴委員会」
委員長 山名 隆衛
副委員長 前川 進介
委員 小川 庄策
須原 弥生
小橋 昭彦
酒井 浩二
足立 嘉正

あとがき
議会は令和5年度3月
定例会を終え、心機一
転！新年度へ向けてス
タートをしました。
昨年度は、「対話する
議会」「若者の声を聞く
議会」を全面に出して、
広報紙づくりをすすめて
まいりました。
先日も地域の方より
「たんばりんぐを楽しみ
に拝見していますよ」と
の声をいただき、嬉しく
思いました。
今年度も、たんばりん
ぐに1人でも多くのみな
さまがご登場いただき、
笑顔あふれる紙面づく
りができるように委員一同
精進してまいりますので
ご協力・ご指導を宜しく
お願いいたします。